

第 12 回全国大会 学会・現地実行委員会企画 (概要)

以下の「基調講演」「現地企画」「パネルディスカッション」は、事前登録不要・参加費無料で参加いただけます。

大阪国際大学 守口キャンパス

〒570-8555 大阪府守口市藤田町 6-21-57

8月24日(水) 奥田メモリアルホール

13:50~15:20

【基調講演】高大接続と入試改革について

大塚 雄作 (独立行政法人 大学入試センター 試験・研究統括官)

司会：小松川 浩 (千歳科学技術大学) ※敬称略

高大接続システム改革会議から最終報告が出され、次年度はじめには、新テストの具体像が提示される予定である。しかし、新テストは、数多くの多様な受験生を対象とするために、検証・開発すべき課題がかなり残されている。特に受験生の広範にわたる多様性という点で、どういう配慮が必要なのかについて、改めて考えてみることにしたい。

15:30~16:30

【現地企画】高大接続に関わる教育現場での実践

司会：矢島 彰 (大阪国際大学)

登壇者：稲葉勇介 (大阪府立西成高等学校)

入交享子 (大阪府立茨木高等学校)

柄澤健史 (大阪国際大学) ※敬称略

高大接続において、高大の教員が交流を深め、連携することが重要であることはいままでもない。連携のためには、大学教員が高校の現場を知ることが不可欠である。家庭科の実践報告、「学びなおし」を目指した高校の実践報告から、高大接続の新たなやり方を考え、高大での教育手法の情報共有を進めていきたい。議論が入試科目や入試手法・制度に偏りがちな状況において、他の視点からの高大接続を考えたい。

16:40~18:00

【パネルディスカッション】教科の世界から学問の世界へ導く高大接続について考える

コーディネーター：御園 真史（島根大学）

登壇者：椋本洋（学校法人追手門学院）

高松正毅（高崎経済大学） ※敬称略

本パネルディスカッションでは、本大会のテーマとして掲げられている「教科の世界」から「学問の世界」へ導く高大接続とはどうあるべきなのかを討論します。大学の立場だけではなく、高校の先生、基調講演をいただく大塚雄作先生、そして、参会者のみなさまとともに議論します。

※詳細は、決まり次第、随時お知らせいたします。

以上